令和５年度

一般選抜（Ⅰ期）問題

試験日　２月１日

世界史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
③ 受験票、筆記用具以外は、机上に置かないこと。
④ 受験票は机上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は１字として数えること。
⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

1、次の〔A〕～〔H〕の各文章は、一つを除き10世紀（901～1000年）の世界について書かれたものです。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

〔A〕フランスでは、（①）が国王となりカペー朝を開設した。この背景には、これまでの$_{a}$カロリング朝の血縁の断絶があった。

〔B〕ドイツでは、（②）が皇帝となり神聖ローマ帝国を成立させた。皇帝はイタリア支配に専念し本国のドイツ支配をおろそかにしたため国内統一は進まず、その後に$_{b}$領邦国家が分立する状態を長く続かせる原因をなした。

〔C〕ロシアでは、（③）に率いられたノルマン人の一派がノブゴロド国を成立させた。さらには、$_{c}$キエフ公国も打ち立てられた。

〔D〕エジプトでは、後に首都をカイロとした（④）朝が成立した。この王朝に加え$_{d}$アッバース朝と後ウマイヤ朝の君主もカリフと称したため、イスラム世界では３人のカリフが存在した。

〔E〕インドでは、アフガニスタンにあったトルコ系の（⑤）朝がインダス川上流に侵入してきた。このことが、$_{e}$インドのイスラム化の第一歩となった。

〔F〕モンゴルの東部を中心とした地域に、（⑥）が強大な国家を成立させ太祖として即位した。中国的な名称では遼と呼ばれるこの国家は支配地域を拡大し、たびたび$_{f}$中国をも脅かすことになった。

〔G〕中国では、五代十国と呼ばれる不安定な勢力乱立・興亡の状態を（⑦）が統一して宋を成立させた。宋は$_{g}$節度使を文官に替えるなどにより文治主義を採用し、これまでの混乱をおさめ中央集権化を図った。

〔H〕朝鮮半島では、（⑧）が新羅を滅亡させ高麗を成立させた。７世紀に$_{h}$三国時代を統一して以来続いた新羅の半島支配もここに終焉した。

〔設問１〕文章中の（①）～（⑧）に入れるのに最も適する語句を答えなさい。

〔設問２〕下線ａについて、カロリング朝の前の王朝とは何かを答えなさい。

〔設問３〕下線ｂについて、この状態を19世紀後半に統一してドイツ帝国を成立させ皇帝となった人物とは誰かを答えなさい。

〔設問４〕下線ｃについて、キエフ公国を最盛期とした人物とは誰かを答えなさい。

〔設問５〕下線ｄについて、カリフとしてアッバース朝に黄金時代と言われる最盛期をもたらした人物とは誰かを答えなさい。

〔設問６〕下線ｅについて、インドで最初のイスラム政権である奴隷王朝を打ち立てた人物とは誰かを答えなさい。

〔設問７〕下線ｆについて、そのため中国の宋が遼と結んだ和議とは何かを答えなさい。

〔設問８〕下線ｇについて、節度使らが玄宗皇帝の末期に起こした反乱とは何かを答えなさい。

〔設問９〕下線ｈについて、三国のうち地理的に日本から一番遠い国とはどこかを答えなさい。

〔設問10〕〔Ａ〕～〔Ｈ〕の各文章のうち、明らかに10世紀の世界の記述ではないものを一つ選び記号で答えなさい。

〔設問11〕以下の項目について、10世紀の時代に存在していなかった勢力を一つ選び記号で答えなさい。

ア．ビザンツ帝国　　イ．大理　　ウ．サーマーン朝

エ．アユタヤ朝　　オ．ガーナ王国

〔設問 12〕以下の項目について、〔A〕～〔H〕の文章の冒頭に示された国や場所のうち最も関係の深いものを各々選び記号で答えなさい。また、該当する国や場所がない場合は×で答えなさい。

ア．形勢戸の台頭　　イ．アルビジョア十字軍の派遣

ウ．金印勅書の発布　　エ．西山の乱の発生　　オ．契丹文字の使用

〔設問 13〕〔H〕の高麗における文化的事業について 40 字以内で説明しなさい。

2、次の〔A〕～〔H〕の各文章は、英国史における著名な人物などについて書かれたものです。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

〔A〕母がカペー家の出であることを理由に、英国王でありながらフランス王位の継承権をも主張した人物である。これを契機に[a]英仏百年戦争が始まり、劣勢であったフランスが百姓の娘（①）の活躍などで勝利した。

〔B〕ランカスター家とヨーク家との間の王位をめぐるバラ戦争の終結により国王となった人物である。この人物は（②）朝を開き、バラ戦争などで諸侯が没落するなか王権強化に努め[b]絶対王政への道を開いた。

〔C〕英国絶対王政の最盛期のときに英国王であった人物である。王家の離婚問題に端を発し長く続いた宗教的混乱も、この人物による（③）の制定で[c]英国独自の教会制度が確立され収まった。

〔D〕ピューリタン革命の結果、護国卿として権力を握った人物である。[d]この人物が独裁体制を確立すると国民の不満は高まり、その不満を背景に（④）が国王となり王政を復古させた。

〔E〕海外との交易や[e]植民地獲得が盛んとなるなか、航海を題材とした文学作品である『ロビンソン・クルーソー』を著した人物である。同じく、（⑤）も『ガリヴァー旅行記』を著した。

〔F〕蒸気機関の改良により[f]動力革命を起こし、産業革命を推進した人物である。機械による大量生産をもたらした産業革命は、『国富論（諸国民の富）』を著した（⑥）の自由主義経済の思想を背景に資本主義を確立させた。

〔G〕世界に先駆けて産業革命を成し遂げ「世界の工場」として英国が繁栄した時代に、長きにわたり国王の座にあった人物である。（⑦）の反乱などにより滅亡した[g]ムガール帝国のあと、この人物はインド皇帝ともなりインド帝国を成立させた。

〔H〕第二次世界大戦中に英国の首相であった人物である。ミュンヘン会談でドイツに対して宥和政策を採った（⑧）首相の辞任で交代したこの人物は、ドイツの侵攻に苦しみながらもテヘラン会談や[h]ヤルタ会談などを通して役割をはたし連合軍の戦勝に貢献した。

〔設問１〕文章中の（①）～（⑧）に入れるのに最も適する語句を答えなさい。

〔設問２〕〔A〕～〔H〕の各文章の冒頭に書かれた人物とは誰かを各々答えなさい。

〔設問３〕下線ａに関連して、17 世紀末から海外植民地獲得などをめぐる第二次英仏百年戦争が起きた。以下の項目のうち、第二次英仏百年戦争とは関係のないものを一つ選び記号で答えなさい。

ア．七年戦争　　イ．ファルツ継承戦争

ウ．バルカン戦争　　エ．オーストリア継承戦争

オ．スペイン継承戦争

〔設問４〕下線ｂに関連して、フランス絶対王政最盛期のルイ 14 世に重用され、絶対王政の理論的背景となった王権神授説を唱えた人物とは誰かを答えなさい。

〔設問５〕下線ｃについて、宗教的混乱の中で最終的に成立した英国独自の教会とは何かを答えなさい。

〔設問６〕下線ｄについて、この頃にイギリス・オランダ戦争が起きるが、その原因となった英国の政策とは何かを答えなさい。

〔設問７〕下線ｅについて、以下の項目のうち英国が歴史上獲得した植民地ではないものを一つ選び記号で答えなさい。また、それを選んだ理由を簡潔に説明しなさい。

ア．ケープ植民地　　イ．カルカッタ　　ウ．ボンベイ

エ．オーストラリア　　オ．フィリピン

〔設問８〕下線ｆに関連して、蒸気船を発明した人物とは誰かを答えなさい。

〔設問 9〕下線 g について、ムガール帝国を建国し初代皇帝となった人物とは誰かを答えなさい。

〔設問 10〕下線 h について、ヤルタ会談に米国の代表として参加した人物とは誰かを答えなさい。

〔設問 11〕以下の項目について、文章の内容が同時代であるものを〔A〕〜〔H〕から各々選び記号で答えなさい。なお、同時代であるかどうかの判断は、〔A〕〜〔H〕の各文章の冒頭に示された人物の生存期間中の出来事かどうかで判断すること。

ア．コロンブスのサンサルバドル島への到達

イ．パレスチナ戦争（第一次中東戦争）の勃発

ウ．プラッシーの戦いの勃発

エ．第二次ウィーン包囲の勃発

オ．ティムール帝国の成立

〔設問 12〕〔H〕の文章中の「ミュンヘン会談でドイツに対して宥和政策」に関し、宥和政策の内容と影響について 60 字以内で説明しなさい。